



谷口 和弥 議員  
( 5期の会 )

**問** 平成18年2月6日、忠類村が幕別町に編入合併する形で新「幕別町」が誕生した。

令和7年は新「幕別町」が誕生して20年目の年、来年2月には新「幕別町」が誕生して丸20年の節目を迎える。新「幕別町」が自治体の責務を更に強固に発揮していくことは、引き続き課題となるであらう。

ついては、以下の点を伺う。

(1) 「新町まちづくり計画」(以下、「本計画」という。)では、新町の将来像を「人と大地が躍動しみんなで築く ふれあいの郷土」と設定している。現時点で新幕別町の将来像に対する到達点をどのように考えているか。

(2) 「本計画」の期間は、令和7年度とされている。今後の新町に関わる計画の策定予定は。

(3) 新「幕別町」の誕生の20周年記念事業の計画はあるか。また、同10周年記念事業として定めた「シンボルマーク」、「ご当地ナンバープレート」、「町の花・木・鳥」

**問** 合併から20年目を迎えた新「幕別町」の更なる発展に向けて

**答** 「この町に暮らしてよかった」と思ってもらえるまちづくりを進めていく

の浸透状況は。  
(4) 新「幕別町史」の編纂を開始すべきと考えるがどうか。

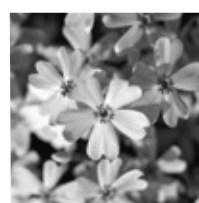
**町長**

新町のまちづくりを共に進めてきた両地域の住民の方々への感謝とともに、これから先も「この町に暮らしてよかった」と思ってもらえるまちづくりを進めていかなければならないものと、改めて意を強くしている。

(1)(2)合併時の「本計画」で描いたまちの将来像は、現在においても「第6期幕別町総合計画」の中で、さらには、この先将来においても普遍的に生き続けていくものと認



合併10周年記念事業で作成した「シンボルマーク」



町の花「しばざくら」



町の鳥「おおはくちょう」



町の木「かしわ」

識している。「本計画」に基づく国の財政的な支援がなくなることから、計画も終期を迎える。  
(3) 記念式典や記念事業は考えていないが、町内のお祭り、イベントに合併20周年記念を掲げ、住民が共有できる場をつくっていく。  
(4) 新たな「幕別町史」の編纂について具体的な計画はないが、開町150年の際に発刊するのがふさわしいものと考えており、引き続き関連資料等の収集・保存に努めていく。また、合併に関わる様々なエピソードを記録史として残すことは意義があると考え、形式を含め検討したい。

**問** 移住促進の取組の強化を

**答** 各種施策に取り組んでいる

**問** 幕別町においても人口減少が続く中で、十勝管内からだけではなく北海道の内外から移住者を迎えることは重要な課題であると考えている。

ついては、以下の点を伺う。

(1) 幕別町の移住促進の取組は。  
(2) 幕別町内の移住体験住宅の整備状況は。

**町長**

(1)(2)人口構造の若返りを図るため、若年層をメインターゲットに空き地・空き家バンクやUIJターン新規就業支援事業、マイホーム応援事業、結婚新生活支援事業、おためし暮らしなどを実施しており、令和7年3月にリニューアルした町ホームページにおいて、移住・定住を検討している方向けに特化したページを開設し、移住に関し必要な情報の効果的な発信に努めている。

これまで取り組んできた移住・定住施策と子育て支援策の一つのパッケージ施策として捉え、施策の展開を継続して進めていきたい。